

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	社会福祉法人ひとは福祉会くらむばん		
○保護者評価実施期間	令和7年10月 2日 ~ 令和7年11月14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	令和7年10月14日 ~ 令和7年10月14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・立地場所が国道に面し、住宅街にも隣接しており、地域住民に子どもたちの活動を目にしていただきやすい。その結果、近隣住民から子どもたち向けの活動を提案していただけたこともあった。	・子どもたちの様子を目にしていただけるように、積極的に地域の公共施設等を活用して活動を行ったり、地域の方から休耕田をお借りして、子どもたちの屋外遊びができるスペースを確保している。	・近隣他事業所との交流を図る機会、合同行事の開催を検討する。
2	・法人内に成人部門もあり、長期休暇中の活動などで成人事業所の利用者との交流を持つことができる。	・成人事業所の利用者との交流を通して、活動のサポートやレクチャーを受け交流をしている。	・夏休み以外の冬休みや春休み期間なども交流の企画を検討する。
3	・スタッフ向けの研修機会が多い。	・法人全体、部門、事業所等、研修の枠組みに応じてテーマ、内容を変えている。	・スタッフの経験も様々で、内容、難易度、テーマを工夫していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常勤スタッフの平均年齢が高く、人員体制の確保、維持に先行き不安がある。	・人口減少、少子高齢化が急速に進み、あらゆる業種が人材を必要としている。 ・勤務時間が学校終了後で、夕方の家庭が忙しくなる時間がメインの勤務時間で、子育て世代や介護世代には勤めにくい。 ・長期休暇中は長時間、放課後は短時間と勤務時間が一定しない。	・資格を所持されていない方であっても、実務経験で配置要件を満たす経験を積んでもらう。
2	・事業所課題というより地域的な課題だが、障がい等のある子どもが利用できる福祉サービスが放課後等デイサービスに限られる。	・少子化によりニーズが限定的となり、事業所としてサービス内容を整備、拡充したとしても採算面で厳しい。	・地域課題として地域自立支援協議会に課題提起していく。
3			